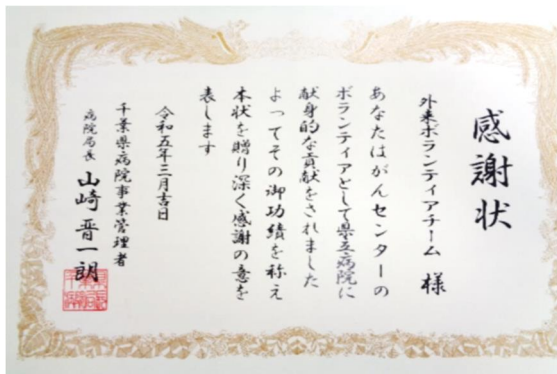


## 今年もケアグッズを皆さんにお届けします。

5月8日から面会制限も一部解除され、少しずつ日常が戻りつつあることを感じます。コロナの感染拡大と共にボランティア活動は、外来案内を中心に少人数で行ってきました。この活動に対して、病院局より3月22日にボランティアの方に感謝状が授与されました。正面玄関から診療科までの坂道をボランティアが車椅子を押して、多くの患者さんから感謝の言葉をかけていただきました。ボランティアの皆様の活動に心より感謝いたします。



しかしこの状況下でも拡大していった活動があります。それはケアグッズの寄附です。団体や個人の方に、ケアグッズを寄附していただいています。タオル帽子、布帽子、バンダナなどの帽子類は2Fのとな文庫・患者サロン、各階のラウンジには配布スペースを設置し、がん薬物療法センターでもお渡しできるように配布しています。保冷温カバー、ストマーカバー、尿パックカバーは病棟や外来で師長さんを通じて、配布しています。製作者の輪がどんどん広がっていくのを実感しています。グッズを利用された方には、フェイスタオル（新品）の寄附の協力もお願いしています。売店隣の患者サロンに箱を設置していますので多くの方にご協力いただくと嬉しいです。

これらの手作りの作品もご自分の経験等を活かして、改良されています。製作者の方々の共通点は、楽しんで、喜んで作ってくださっていることです。まだまだこの活動は広がっていくようです。ボランティア支援室が取次ぎをしていますので、お気軽に声をおかけください。

ラウンジのタオル帽子



布帽子・タオル帽子



ストマーカバー



尿パックカバー

